

# おいでおいで みんなで一緒に遊ぼうよ 「児童福祉週間」特別インタビュー

子どもの日（五月五日）から一週間は「児童福祉週間」です。そこで、障がい児福祉に長年たずさわる高良節子さんにお話をうかがい、子育て中のお父さん、お母さん、そしてこれから子どもを育てていく若い世代のみなさんへメッセージをいただきました。

## ママ友づくり☆

今、核家族の問題が取り上げられる中、結婚や転勤など、いろいろなきつかけて住み慣れた地域から新しい生活環境へ変わる方も多いでしょう。慣れない地域での子育ては、不安や戸惑い、ときには悩みを一人で抱え込むこともあるのではないのでしょうか？

わたしがこれまで、たくさんの子育て中の家族と出会い感じたことは、仲間づくりの大切さです。わたしの勤めていた「たんぼぼ園」では、障がいのある子もしくは、その心配がある子の親子通園を行っています。入園後、多くのお母さんはほかの

陽とそよぐ風を子どもと一緒に体感できることは、とても大事で、また、外に出ることで心も体も親子ともにリフレッシュにつながります。公園には自分と子どもだけでなく、他の親子も遊びに来ます。

お母さんたちと接する中で、独りではない仲間がいることに気づき、また、肩の力をぬくことで、心にゆとりが生まれ、子育てに楽しみを見つけてくれるようになったのは・・・と、感じました。「お母さん同士のゆんたくタイムがとても楽しく、その中ですいぶんと気持ちを救ってもらった」と話してくれたお母さんもいます。

ときには遠くの親戚より、近くの仲間！という日もあります。同じ悩み・違う悩みをもちながら、同じ立場で過ごせるママ友の存在が大切なのです。  
**公園デビュー!!**  
晴れた日のまぶしい太陽とそよぐ風を子どもと一緒に体感できることは、とても大事で、また、外に出ることで心も体も親子ともにリフレッシュにつながります。

も伝わることが多いと思います。例えば、子どもをひざにのせての絵本読みや寝かせるときの背中トントン、腕枕や手をつないで散歩など。お母さんたちが自然にやっていることも、子どものぬくもりを感じ、一緒に過ごす時間を改めて大切にしてもらえたらなあ・・・と思います。

公園デビューに最初はドキドキするかもしれませんが、慣れるとたくさんの楽しみや発見が待っています！親子でぜひ勇気の一步を公園だけでなく、児童館やその他へも遊びに出かけてみませんか？  
**ぬくもりを伝える♡**  
乳幼児期は特に、親子のふれあいは体温（ぬくもり）をつうじて心へ

きっと見つかるでしょう。ときには大きな不安にぶつかり、立ち止まってしまうこともあると思いますが、親も少しずつ子どもと同じように成長していきます！ともに育ち合っていきましょうね。

そして、気づいたとき、思ったときがスタートです。この子はわたしのために生まれてきた、私の子に生まれてきてくれて、ありがとう。お母さんの子どもに生まれて幸せだよ・・・母と子がお互いにそう想いあえる、瞬間瞬間を楽しんでください。

**出会い ぬくもり 育ち合いの大切さ・・・**



**高良節子さんのプロフィール**  
昭和60年に母子通園事業（現浦添市児童デイサービス事業）「たんぼぼ園」へボランティアとして親子保育へ参加。その後、職員として20年余り務め、3年前に退職。退職後もボランティアとして親子と関わりながら、障がい児福祉活動を草の根的に行っている。